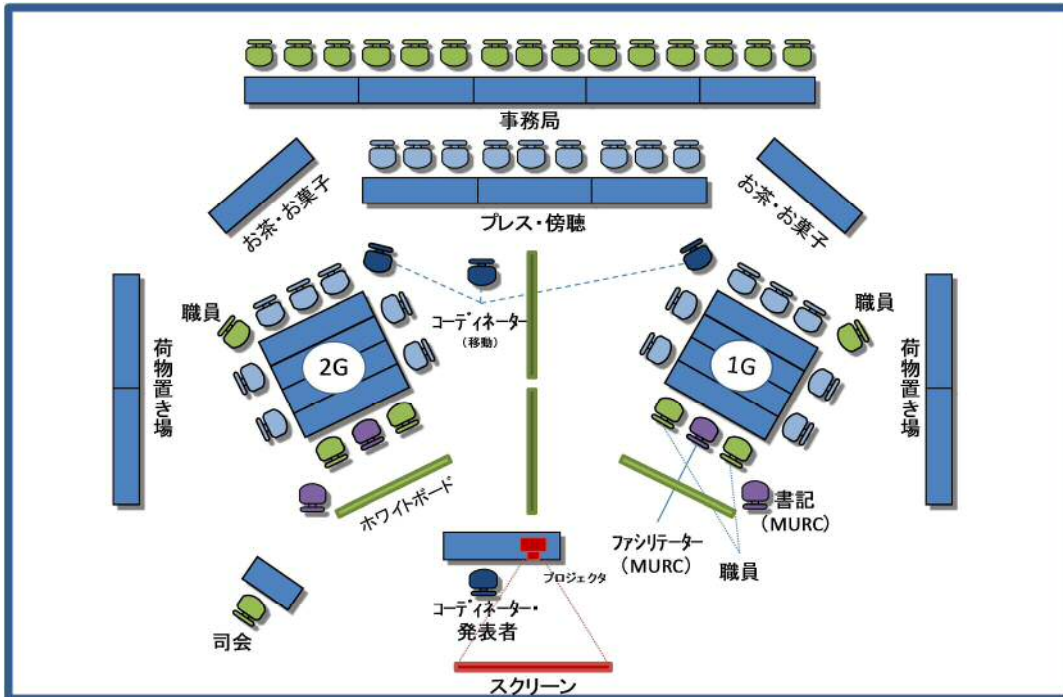


川崎市総合計画市民検討会議第3部会【暮らし・交通】
グループディスカッションの進め方

【レイアウト】（多摩区役所 11 階）



【メンバー】（敬称略）

グループ	氏名	在住区	スタッフ
1	小 山 了 コ ヤマ リョウ	川崎区	(市職員) 阿部 塚田
	加 藤 英雄 カトウ ヒデオ	幸区	
	馬 場 直子 ババ ナオコ	中原区	(ファシリテーター) 佐藤
	岡 田 義一 オカダ ヨシカズ	高津区	
	片 山 利昭 カタヤマ トシアキ	高津区	
	辻 麻里子 ツジ マリコ	宮前区	(書記) 西尾
	後 本 直子 ノチ モト ナオコ	多摩区	
2	荻 原 進 オギハラ ススム	川崎区	(市職員) 宮崎 山本
	青 柳 昇二 アオヤギ ショウジ	幸区	
	川 島 弘一 カワシマ コウイチ	中原区	
	松 本 玲子 マツモト レイコ	中原区	(ファシリテーター) 水谷
	飯 田 眞 イイダ マコト	高津区	(書記) 山本
	長 野 敏幸 ナガノ トシユキ	宮前区	
	山 下 千裕 ヤマシタ チヒロ	麻生区	

【グループディスカッションの進め方】

○ **グループディスカッション** (10:05~12:00 計 115 分)

■ **テーマ1「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは？」**(10:05~11:00 計 55 分)

本市の状況について説明 (8 分)

- ・ 事務局より、資料 2-2「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは」について説明します。
- ・ 説明を聞きながら、資料 2-2 の 22 ページのメモ欄や、配布された付箋を活用して、意見をメモしてください。

意見交換 (47 分)

- ・ 2つのグループで、「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿」のテーマについて、さらに「徒歩」「自転車」「公共交通」の3つに分けて、それぞれ「自分・家族ができること(自助)」「地域でできること(共助)」「行政がやるべきこと(公助)」を共通の視点として、グループディスカッションを行います。

＜各テーブルに模造紙・ホワイトボードペーパーを配置(ホワイトボードに掲示)＞

テーマ1「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは？」			
	徒歩	自転車	公共交通
自分・家族ができること(自助)			
地域でできること(共助)			
行政がやるべきこと(公助)			

<p><徒歩></p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p><自転車></p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p> <p><公共交通></p> <p>■</p> <p>■</p> <p>■</p>

模造紙①
模造紙②(余白)
ホワイトボードペーパー

- ・ ファシリテーターの進行により、自由に意見交換をして、議論を深めていきます。
- ・ 委員の意見が付箋に書かれている場合は、書記がその付箋を模造紙に貼り出します。口頭での意見は、書記が聞き取った内容を付箋に書き出し、内容を発言した委員に確認してもらってから、模造紙に貼り出します。
- ・ 書記は、いただいた意見を、「自分・家族ができること(自

付箋の書き方のポイント

- ・ 1枚に1つのことを書く。
- ・ 配布しているサインペンを使って書く。
- ・ できるだけ大きな文字で書く。
- ・ 単語ではなく、誰が、何を、どうするかなどがわかるように書く。

助)」「地域でできること (共助)」「行政がやるべきこと (公助)」に分類して、委員に確認しながら左側の模造紙の該当する場所に貼り出します。分類が難しい場合には、いったん右側の模造紙の余白に仮置きをして、その後の意見交換で分類できれば、適宜左側の模造紙に貼り替えます。

- ・ 模造紙に付箋を貼る際、近い内容の付箋があれば、それらを近い位置に貼り替えて、大まかなグルーピングをしていきます。ある程度グループがまとまってきたら、そのグループのまとめのこぼを、グループのタイトルとして模造紙に書き出します。
- ・ 最後に、全体を通じたまとめとして、右側のホワイトボードペーパーに、1～2行の文章で箇条書き (目安として3～5本程度) でポイントを書き出します。
- ・ 改めて全体を振り返り、全体を通じたまとめのコメントとともに、模造紙に書かれたキーワードについても、重要なものの漏れがないかを確認します。

テーマ1「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは？」

	徒歩	自転車	公共交通
自分・家族がやるべきこと (個人)	[Sticky notes]	[Sticky notes]	[Sticky notes]
地域がやるべきこと (地域)	[Sticky notes]	[Sticky notes]	[Sticky notes]
行政がやるべきこと (公助)	[Sticky notes]	[Sticky notes]	[Sticky notes]

右側書き出し欄:

- <徒歩>
 -
.....
 -
.....
- <自転車>
 -
.....
 -
.....
- <公共交通>
 -
.....
 -
.....

■ 休憩 (11:00～11:05 計5分)

■ テーマ2「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは？」

(11:05～12:00 計55分)

本市の状況について説明 (8分)

- ・ 事務局より、資料 2-3「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは」について説明します。
- ・ 説明を聞きながら、資料 2-3 の 17 ページのメモ欄や、配布された付箋を活用して、意見をメモしてください。

意見交換 (47分)

- ・ 2つのグループで、「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿」のテーマについて、さらに「住まい」「身近な住環境」の2つに分けて、それぞれ「自分・家庭ができるこ

と（自助）」「地域でできること（共助）」「行政がやるべきこと（公助）」を共通の視点として、グループディスカッションを行います。

- ・ 以下、テーマ1と同様に、意見交換を行います。

テーマ2「少子高齢社会における地域居住のあるべき姿とは？」		
	住まい	身近な住環境
自分と家族ができること（自助）		
地域でできること（共助）		
行政がやるべきこと（公助）		

<p><住まい></p> <p>■</p> <p>.....</p> <p>■</p> <p>.....</p> <p>■</p> <p>.....</p> <p><身近な住環境></p> <p>■</p> <p>.....</p> <p>■</p> <p>.....</p> <p>■</p> <p>.....</p>
--

- **休憩**（12:00～12:05 計5分）

- **成果発表・シール投票・まとめ**（12:05～12:20 計20分）

各グループの成果発表（8分）

- ・ グループごとに、委員の代表者に、グループディスカッションの成果を発表していただきます。（発表2分×2テーマ×2グループ）
 - テーマごとに、左側の4模造紙でグループのタイトルを追いながら議論の経過の概略を簡単に紹介していただき（1分を目安）、右側のホワイトボードペーパーのまとめを読み上げていただきます（1分を目安）。

質疑応答（4分）

シール投票（5分）

- ・ 2グループの発表後、委員1人につき3枚のポイントシールを、それぞれよいと思った意見に貼り出します。
 - 右側のホワイトボードペーパーに箇条書きされたまとめの文章の中から選んで貼っていただきます。

テーマ1「超高齢社会に向けた地域交通のあるべき姿とは？」

	徒歩	自転車	公共交通
(理想)「理想」のある暮らし			
(理想)「理想」のある暮らし			
(理想)「理想」のある暮らし			

<徒歩>

■
 ●

<自転車>

■
 ●

<公共交通>

■
 ●

まとめ (3分)

- 各グループの発表及びシール投票の結果をもとに、コーディネーターのコーディネートによって、全体で討議を行います。(書記は別の模造紙に討議内容を記録します。)
- 最後にコーディネーターより、まとめのコメントをいただきます。

(以 上)